

鎌倉市鏑木清方記念美術館 令和4年度（2022年度）第4四半期実績評価

1 美術館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

- ・第4四半期の来館者数は4,366人で、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値5,666人に対して、約77.1%の来館があった。
- ・一方、昨年度の同四半期来館者数3,180人と比較すると1,186人増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、イベント等を積極的に行ったことが集客につながり、徐々に来館者数は回復している傾向にあると分析する。

2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務

● 施設・設備の維持管理

- ・保守点検を計画どおり、適切に実施した。

● 施設の運営

- ・展覧会のチラシやポスター等を作成し、周知を積極的に実施した。
- ・窓口における受付及び施設案内を適切に実施した。
- ・SNSを活用し、館及び展覧会の周知を積極的に実施した。

3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務

● 展示・その他事業

- ・1月14日から2月26日までの企画展「うつりゆく時代を見つめて一江戸から東京へ」では、近代化や震災により変わりゆく東京の姿を描いた作品を紹介した。3月3日から4月9日までの企画展「花咲くよるこびー清方が描いた花々」では季節の草花を描いたスケッチの他、花をモチーフにした装丁などの意匠を紹介した。
- ＊展示替 1月は66点、2月は64点、3月は64点の展示替をそれぞれ実施した。
- ・計8回の展示解説を行い、110人が参加した。
- ・3月26日から31日まで春休み親子鑑賞を実施し、子ども向けの解説パネルの設置やワークシートの配布を行った。（参加者24人）

● その他必要な業務

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入館者の検温や、館内の換気・清掃等を実施した。
- ・鏑木美術品の調査研究を実施した。

4 楠木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務

● 収集・保管

- ・作品の所在確認を2月22日、3月2日、16日及び23日に実施した。結果は、良好であった。
- ・美術品の適切な温湿度管理を実施した。

● 調査・研究

1月

- ・雑誌『苦楽』についての調査
- ・清方のスケッチについての調査
- ・小説『麗子夫人』についての調査
- ・少年少女向け雑誌についての調査
- ・明治期の挿絵画家についての調査
- ・清方の日記の調査
- ・『少女世界』の調査
- ・山川秀峰作品の実見調査
- ・水野年方遺品の調査

2月

- ・清方が描いたスケッチに関する調査
- ・明治～大正の女性の装いに関する調査
- ・清方の疎開時のスケッチに関する調査
- ・清方の日記の調査
- ・久留島武彦に関する調査
- ・少年・少女向け雑誌(明治期)に関する調査
- ・上村松園についての調査
- ・硯友社関係資料の実見調査

3月

- ・清方が鎌倉を描いたスケッチについての調査
- ・浮世絵に使われていた染料についての調査
- ・明治の多色摺木版画についての調査
- ・上村松園についての調査
- ・清方の日記についての調査
- ・個人蔵の清方作品調査
- ・清方の芝居に関する随筆の調査および先行研究文献調査
- ・他館所蔵の清方の書簡調査

いずれも計画どおり調査・研究を実施した。

出版物の管理及び保管を適切に実施した。

5 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書を決められた期日までに提出した。
- ・休館情報や展示替えに伴うホームページの情報更新を適切に実施した。
- ・市民への周知として市広報に展覧会の情報を掲載した。
- ・市役所本庁舎の来庁者への周知として展覧会情報を市役所モニターに掲載した。

● 事故・苦情対応

- ・特になし

● その他

- ・教育施設への講師派遣を行った。(東海大学、川崎市民アカデミー)
- ・1月の来館者を対象に「新春福引き」を実施した。(参加者611人)
- ・1月5日から2月26日まで葉山の山口蓬春記念館と連携し、「鎌倉 葉山 近代日本画家の旧居跡めぐり」を開催し、クイズラリーとミュージアムグッズのプレゼントを実施した。(参加者56人)
- ・1月14日から2月26日まで和装の来館者を対象に観覧料を割引きする「着物で楽しむ美術館」を開催した。(参加者31人)
- ・2月15日に来館者60万人を達成した。
- ・3月に叢書図録23「清方が描いた子どもたちの世界」を発行した。

6 全体評価

・第4四半期の来館者数は4,366人で、昨年同四半期の3,180人に比べて、1,186人・約37.3%分増加した。1月の初詣客の増加や、2月のマスク着用緩和報道などによる観光への抵抗が徐々に和らいだことが来館者数の回復に影響したと思われる。また、1月及び2月の閑散期にイベントや連携事業を行ったことで、来館者数の増加につながったと考えられる。

・しかしながら、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値(5,666人)と比較して77.1%となり、80%以上の水準にないため、5点減点とする。イベントや連携事業による来館者増の効果は見られることから、引続き企画の充実を検討されたい。

・3月の企画展は草花に関連した内容だったが、同時期に桜が開花したこともあり、SNSなどでは展覧会に対する好意的な投稿が見受けられた。引き続き、時勢に応じたSNS等を活用した広報活動に取り組まされたい。

・寄贈を受けた作品・資料の調査・研究を引き続き計画的に進めるとともに、その成果をより多くの方々に伝えていくよう積極的に取り組まされたい。

・施設の維持管理業務に関しては、日常点検をはじめ、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。

鎌倉市鎌木清方記念美術館 令和4年度（2022年度）第4四半期判定評価

評価項目	判定点	第4四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	0	×	5
特別利用			
作品に悪影響が出ないような適正な承認を行っているか	10	○	
2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
施設の運営			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務			
展示			
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
その他必要な業務			
展示以外の自主事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 鎌木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務			
美術品等の維持管理			
美術品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、美術品が適切に取り扱われているか	5	○	
調査・研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
出版物の管理・保管は適切に行われているか	3	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			5
総 計	112		

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

特記事項
特になし。

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%